**石仏道標**

**左？それとも右？**

この道標には、与川道を旅する旅人に有用な道案内と、蓮の花を手に持つ観音菩薩の浮き彫りを組み合わせられています。(旅人は、従来の中山道の経路が洪水や地滑りにより通行できない時に与川道に迂回していました。)

観音菩薩の左側には、「左 のぢり道」、右側には、「右 やまみち」と刻まれています。 この石仏道標には左側に「十月」、右側に「宝暦十一年 (1761年)」 と刻まれているため、その建立年月がわかります。この石像の装飾的に先が若干曲がった意匠は、江戸時代中期に典型的な装飾的意匠です。